

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		保育所整備事業					
事業の概要		保育施設の充実の本町の行政を推進していく上で、非常に大きな意味を持つ。合併により町内では8園の保育所となったが、その整備状況には差異があるのが現状である。より良い環境での保育が実現できるよう整備を進めることにより、「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」に資する。 ・山田保育所天井裏改修事業 ・岩滝・石川保育所放送設備整備事業 ・与謝保育園下水接続事業 ・加悦保育園エアコン整備事業 ・岩滝・石川保育所遊具整備事業					
		事業期間	平成22年9月6日～平成23年3月31日				
		総事業費	3,662	本年度事業費	3,662	交付金交付額	531
事業評価	事業の必要性	合併後に町内8園となった保育所だが、整備状況には差異がある。その差異を是正し、より良い環境で乳幼児の健やかな成長を促進する必要がある。					
	事業の有効性	保育所整備を行うことにより、利用者が安心・安全かつ快適に過ごすことが出来る環境が整備され、児童の健全な心身の発達に資する。					
	事業の効率性	本事業の実施により、従前の不具合を解消することができ、効率的な保育の実施に繋がる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 利用者が安心・安全に活動でき、快適に過ごすことができる環境が整備され、児童の健全な心身の発達に資する。					
		3 リーディング・モデル成果 施設の安全性・利便性を高めることで、より良い環境での保育が実現できるようになり、「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」に資する。					
4 広域的波及成果 合併後に町内8園となった保育所だが、整備状況には差異がある。その差異を是正し、より良い環境で児童の健やかな成長を促進する必要がある。							
5 行財政改革に資する成果 施設の老朽化に伴い、適切な時期に整備を行うことで、施設の長寿命化を図ることができる。							
6 その他の成果 町内保育所は建設から年数の経っているものが多く、建物や設備の経年劣化により安全性・利便性を損なっている施設もあり、早急かつ継続的に整備を行うことにより、安心・安全な保育環境の充実に繋がる。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。